

経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県備前市 備前病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド透	救輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
34,781	7,566	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

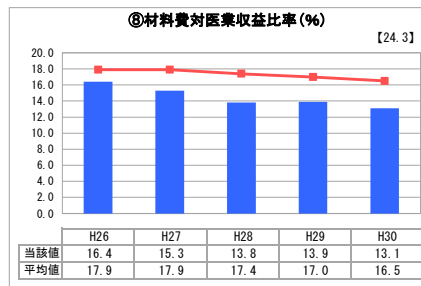
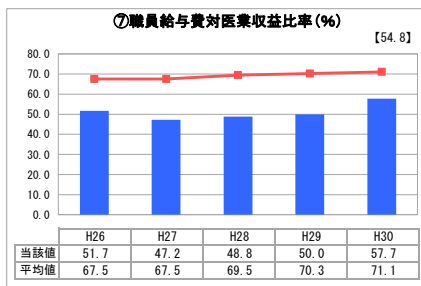
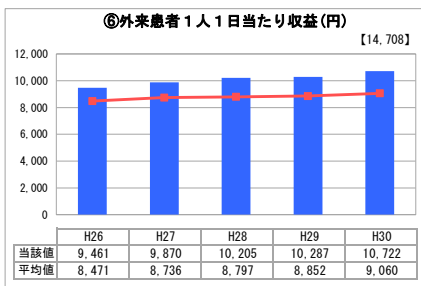
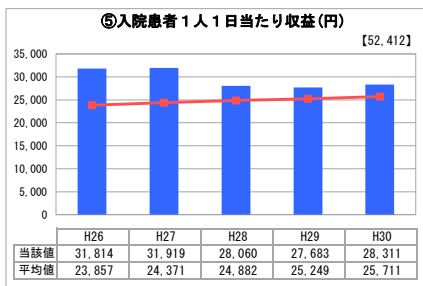
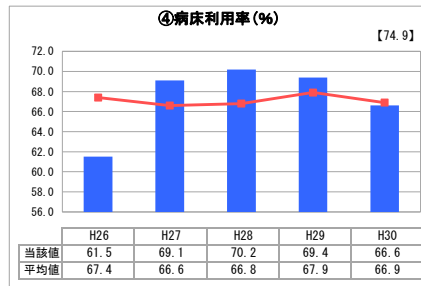
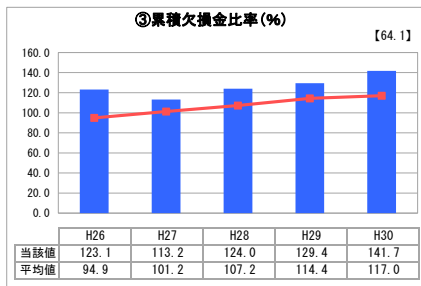
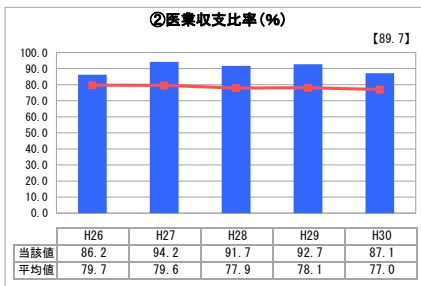
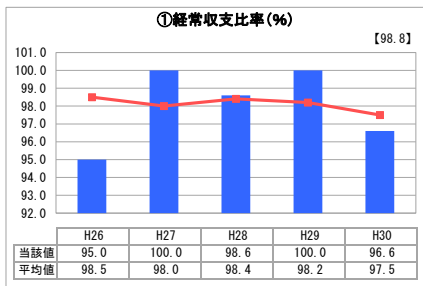
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
46	44	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	90
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
46	44	90

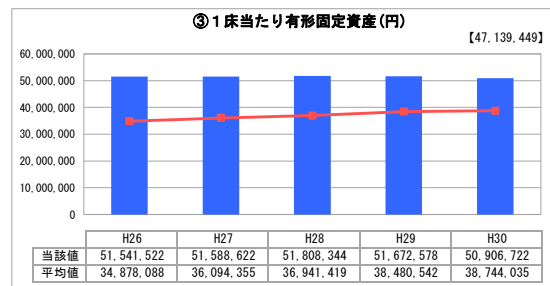
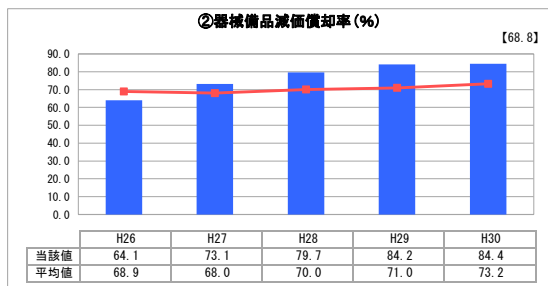
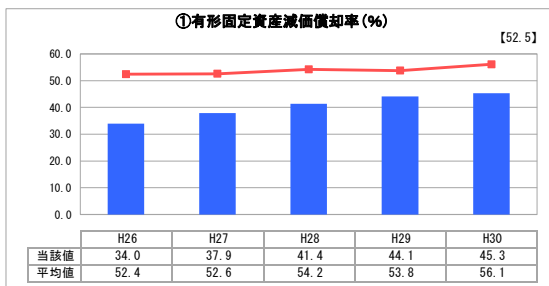
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

自治体病院として、行政、医療機関、介護施設と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供するとともに、国保直診の目指す地域包括ケアの観点から、回復期を担う地域包括ケア病床、慢性期を担う療養病床の設置、リハビリテーションの充実、人工透析医療(16床)や各種健診事業のほか、介護保険事業として、介護老人保健施設(80床)、通所リハビリテーション事業(定員30人)、居宅介護支援事業、訪問看護ステーション事業も展開している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び②医業収支比率で、上回っているのは医業収支比率の類似病院平均値のみとなり、④病床利用率の低下を色濃く反映している。
 医業収益の落ち込みにより累積赤字が増えたため、③累積欠損金比率は、更に上昇している。
 ⑤⑥の入院外来それぞれの1人1日当たり収益は、透析医療をしている影響で、類似病院平均値より若干高い傾向にあるが、患者数の減少により、収益額としては低調であると言える。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、平成23年度の病院建て替えから年数を経るにつれ、徐々に高くなってきている状況である。
 ②は全国、類似平均ともに下回っているが、器械備品減価償却率は、全国、類似病院平均値よりどちらも高くなっており、医療機器類は老朽化が進んでいると考えられるが、頻繁な機器更新は経営を圧迫するため、定期的に保守で適切に使用できる状態を保持することに努める。
 ③1床当たり有形固定資産は、類似病院平均値より高くなってきているが、併設の老人保健施設の償却資産が含まれているためであり、病院単体では平均値に近い値になると考える。

全体総括

市の人口は年々減少しているが、利用者を選択される病院となることで、患者数の確保をしていく必要がある。
 具体的には、地域包括ケアの観点から、慢性期を担う療養病床、回復期を担う地域包括ケア病床やリハビリテーションを充実させるとともに、地域の診療所や隣接地域の急性期病院との連携、協力を図り、地域医療全体の充実に取り組み、利用者のニーズに応えられるよう努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。